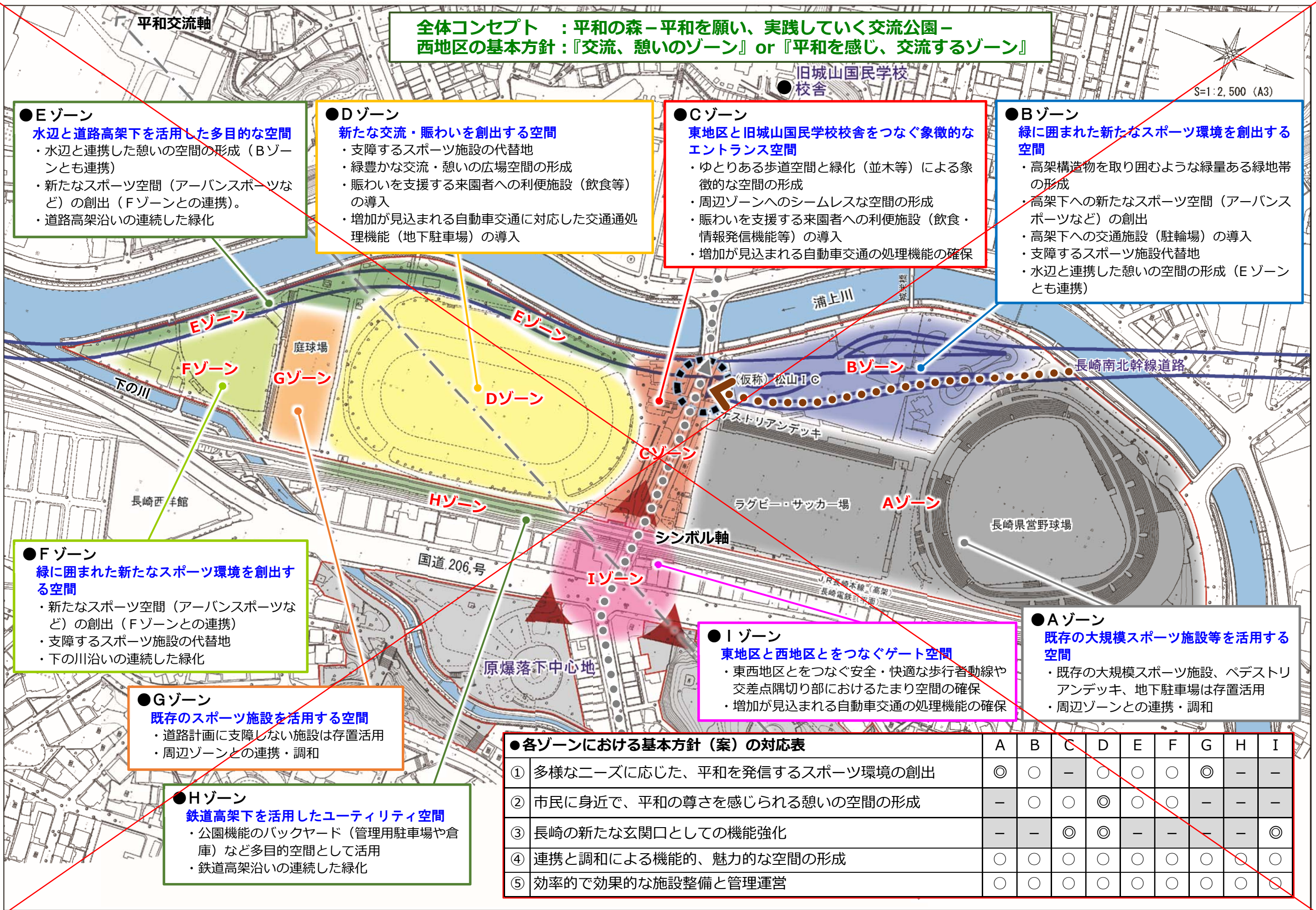


ゾーニング(案)とゾーン別の整備方針(案)

全体コンセプト : 平和の森-平和を願い、実践していく交流公園-
西地区の基本方針 : 『交流、憩いのゾーン』 or 『平和を感じ、交流するゾーン』



●Eゾーン
水辺と道路高架下を活用した多目的な空間
 ・水辺と連携した憩いの空間の形成 (Bゾーンとも連携)
 ・新たなスポーツ空間 (アーバンスポーツなど) の創出 (Fゾーンとの連携)。
 ・道路高架沿いの連続した緑化

●Dゾーン
新たな交流・賑わいを創出する空間
 ・支障するスポーツ施設の代替地
 ・緑豊かな交流・憩いの広場空間の形成
 ・賑わいを支援する来園者への利便施設 (飲食等) の導入
 ・増加が見込まれる自動車交通に対応した交通処理機能 (地下駐車場) の導入

●Cゾーン
東地区と旧城山国民学校校舎をつなぐ象徴的なエントランス空間
 ・ゆとりある歩道空間と緑化 (並木等) による象徴的な空間の形成
 ・周辺ゾーンへのシームレスな空間の形成
 ・賑わいを支援する来園者への利便施設 (飲食・情報発信機能等) の導入
 ・増加が見込まれる自動車交通の処理機能の確保

●Bゾーン
緑に囲まれた新たなスポーツ環境を創出する空間
 ・高架構造物を取り囲むような緑量ある緑地帯の形成
 ・高架下への新たなスポーツ空間 (アーバンスポーツなど) の創出
 ・高架下への交通施設 (駐輪場) の導入
 ・支障するスポーツ施設代替地
 ・水辺と連携した憩いの空間の形成 (Eゾーンとも連携)

●Fゾーン
緑に囲まれた新たなスポーツ環境を創出する空間
 ・新たなスポーツ空間 (アーバンスポーツなど) の創出 (Fゾーンとの連携)
 ・支障するスポーツ施設の代替地
 ・下の川沿いの連続した緑化

●Gゾーン
既存のスポーツ施設を活用する空間
 ・道路計画に支障しない施設は存置活用
 ・周辺ゾーンとの連携・調和

●Hゾーン
鉄道高架下を活用したユーティリティ空間
 ・公園機能のバックヤード (管理用駐車場や倉庫) など多目的空間として活用
 ・鉄道高架沿いの連続した緑化

●Iゾーン
東地区と西地区とをつなぐゲート空間
 ・東西地区とをつなぐ安全・快適な歩行者動線や交差点隅切り部におけるたまり空間の確保
 ・増加が見込まれる自動車交通の処理機能の確保

●Aゾーン
既存の大規模スポーツ施設等を活用する空間
 ・既存の大規模スポーツ施設、ペデストリアンデッキ、地下駐車場は存置活用
 ・周辺ゾーンとの連携・調和

●各ゾーンにおける基本方針(案)の対応表

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
① 多様なニーズに応じた、平和を発信するスポーツ環境の創出	◎	○	-	○	○	○	◎	-	-
② 市民に身近で、平和の尊さを感じられる憩いの空間の形成	-	○	○	◎	○	○	-	-	-
③ 長崎の新たな玄関口としての機能強化	-	-	◎	◎	-	-	-	-	◎
④ 連携と調和による機能的、魅力的な空間の形成	○	○	○	○	○	○	○	-	○
⑤ 効率的で効果的な施設整備と管理運営	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平和公園(西地区)のゾーニング(案)とゾーン別整備方針(案)

修正(案)

